

世界代表司教会議 第16回通常総会
ともに歩む教会のため—交わり、参加、そして宣教
2021年9月7日発表の「準備文書」・「手引書」より抜粋 **改訂版 B**

<意見聴取に参加する皆さんへの質問票>

「ともに歩む教会」は、福音を宣べ伝えながら「一緒に旅する教会」のことである。

以下の質問は、「ともに歩む」とはどういうことかを明らかに引き出すためのものである。それぞれの国や地域に応じて説明し、深め、まとめるように努める。その際、祈り、考え、分かち合うことが大切である。

1 一緒に歩んでいる人たち

教会と社会で、わたしたちは同じ道を並びながら歩いている。

- ① わたしは（わたしたちは）一緒に歩んでいるでしょうか？
- ② わたしは（わたしたちは）誰と歩まなければいけないでしょうか？
- ③ 一緒に歩むことを怠っていたり、忘れていたり、見捨てている人たちはいませんか？
- ④ ともに歩むことができている人たちとは誰ですか？ どうしてともに歩むことができないのでしょうか？
- ⑤ わたし（わたしたち）と一緒に歩んでもらっていますか？一緒に歩んでもらうためにはどうしたらいいと考えますか？

2 真剣に耳を傾ける

傾聴は最初のステップ。しかしそのためには、偏見なしの、開かれた精神と心が求められる。

- ① 時としてわたしたちが知らない声を通して、神は語りかけています。わたしは（わたしたちは）誰に耳を傾けていますか？
- ② わたしが（わたしたちが）耳を傾けていない人がいますか？
例：女性、若者、小さな人々、隣人、意見が異なる人、貧困者、周辺に追いやられている人、排除されている人、難民など。
- ③ どうしてそのような人々に耳を傾けることができているのでしょうか？
- ④ どうしたらその人々に耳を傾けることができるのでしょうか？
- ⑤ わたし（わたしたち）の声には耳を傾けてもらっていますか？
- ⑥ わたし（わたしたち）の声をどうしたら聴いてもらえると考えますか？

3 自分の考えをはっきり声に出す。

すべての人は、勇気をもって、気兼ねなく（parrhesia）、つまり自由に、真実を（in truth）、愛を持って話すよう招かれている。

- ① わたし（わたしたち）は自分の信仰をはっきりと表明していますか？表明できていないとすれば、どうしてですか？
- ② 教会の中でも社会においても、勇気をもって、率直に、責任をもってはっきり述べる場や機会はありますか？ ないとすれば、なぜでしょうか？
- ③ 福音宣教に役に立つ手段を積極的に利用していますか？
例：印刷物、書籍、テレビ、ラジオ、SNS、インターネットなど。
- ④ 福音宣教についてのアイディアはありませんか？

4 典礼

「ともに歩む」ことは、ともにみことばに耳を傾け、感謝の祭儀を行うことに基づいている場合に、はじめて可能である。

- ① ミサや典礼はわたし（わたしたち）やわたし（わたしたち）の生活を生かすものになっていますか？ それはどうしてですか？
- ② それを生かすためにはどうしようと思いますか？
- ③ どのような参加の仕方がいいと思いますか？

- ④ わたし（わたしたち）は皆一緒に祈っていますか？
- ⑤ 朗読や祭壇の奉仕をするとき心がけていることは何でしょうか？

5 わたしたちの共通の使命（宣教）に対する共同責任

「ともに歩む」ことは、すべての人が参加するよう招かれている、教会の使命（宣教）に奉仕するためである。

- ① すべてのキリスト者は福音宣教者であることを自覚しているでしょうか？
- ② 誰に対して福音を伝えようとしているでしょうか？あるいは、誰に対して伝えないといけませんか？
- ③ 宣教をなおざりにしている分野あるいは領域がありますか？
- ④ 信者が活発に宣教しようとするのを妨げるものは何でしょうか？
- ⑤ 福音宣教を誰かに任せっきりにしていませんか？ともに福音宣教を行おうとしていますか？どうしたらともに福音を伝えることができると考えますか？
- ⑥ どのような形ややり方（社会福祉、政治活動、科学的探究、教育、社会正義の促進、人権擁護、環境保全など）で福音を伝えていますか？あるいは、伝えようと思いませんか？
- ⑦ 教会共同体は、さまざまな方法で社会に奉仕する信者をどのように支援しているでしょうか？

6 教会と社会における対話

対話のためには根気強さと忍耐を要する。しかし対話は相互の理解を可能にする。

- ① 意見が違う人たち、違う信仰の人たちとも対話を行っていますか？彼らと対話をしよう、関わろうとしていますか？
- ② わたしたちの教会で何が対話の場や手段になっているでしょうか？
- ③ わたしたちは、近隣の教区、地域内の修道院、信徒の団体や運動体などとの協働をどのように推進しているでしょうか？
- ④ 教会と社会の中で、わたしたちが特に注意を向けている問題は何でしょうか？
- ⑥ わたしたちは、ほかの諸宗教の信者や、特に宗教を信奉していない人々と、どのような対話や協働の体験をしているでしょうか？
- ⑦ 教会は、社会のほかの分野（政治、経済、文化、市民社会、貧困生活）の人々とどのように対話をし、何を学んでいるでしょうか？

7 エキュメニズム（教会一致）

洗礼によって一つに結ばれ、異なる信仰告白をするキリスト信者への対話は、シノドスに向かう歩みの中で特別な位置を占めている。

- ① 特にカトリック以外のキリスト者とも祈り合い、分かち合い、ともに歩んでいますか？
- ② とともに歩むためにどうしようと思いませんか？
- ③ とともに歩むことからどのような実りを得ているでしょうか？
- ④ 互いにともに前進するとき、次のステップをどのように踏めばいいでしょうか？

8 権威と参加

ともに歩む教会は、参加し、共同責任を担う教会である。

- ① 自分たちの教区の目標を知っていますか？
- ② その目標のために具体的な協力ができていますか？その目標に向けてともに動いていますか？どうしたらともに動けますか？
- ③ 会議で教会行事の実施担当者を決めるだけでなく、福音宣教をどうしようかなどについての分かち合いはなされていますか？
- ④ わたしは自分の意見を述べていますか？わたしの意見は聴いてもらっていますか？
- ⑤ 信徒の奉仕と責任は、特に女性の場合、どのように促進されているでしょうか？
- ⑥ 教区の組織体（小教区評議会、教区評議会、司祭評議会など）は「ともに歩む」ように機能しているでしょうか？
- ⑦ 教会が「ともに歩む」ために、どのような参加やリーダーシップが望ましいでしょうか？
- ⑧ 教区のレベルで、「ともに歩む」という体験をしたことがありますか？

9 識別と決定

わたしたちは、「ともに歩む」仕方で、聖霊がわたしたちの共同体全体を通して言っていることを識別することによって意志決定をする。

- ① 祈りと聖書朗読から会議を始め、みことばに従って会議を行い、行動に移しているでしょうか？
- ② 主がともにおられ、聖霊が導いておられることを意識しながら行動しているでしょうか？
- ③ わたしたちは、位階的な教会（教皇・司教・司祭・修道者・信徒）の中で、意志決定にどのように参加しているでしょうか？
- ④ わたしたちの意志決定方法は、神の民全体に耳を傾けることから始めているでしょうか？
- ⑤ 意見をうかがうこと（諮問）と意志決定との関係はどうでしょうか？その関係をどのように実践しているでしょうか？
- ⑥ わたしたちは、重大な事柄について透明性と説明義務を促進するためにどのような手段と手続きを用いているでしょうか？
- ⑦ 共同で霊的識別ができるようになるためにどうすればいいでしょうか？

10 「ともに歩む」中でわたしたち自身が養成される。

「ともに歩む」ことは、人間およびキリスト者、家族、地域社会の変革、養成、そして生涯学習を受け入れることでもある。

- ① 宣教・典礼・様々な問題・教会活動などにおいて、ともに歩むことを意識し実際に行動していくためにはどうしたらいいと考えますか？
- ② 識別を促し、「ともに歩む」方法で権威を行使することを推進するために、どのような養成が行われているでしょうか？